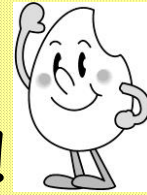


実のりお買得情報!



- ☆桃、ぶどうの箱等大量販売中!!
- ☆水稻農薬各種販売中!!
- ☆エンジンポンプ、各種散水用品販売中!!
- ☆立てす、オーニング、遮光用品等好評販売中!!
- ☆秋蒔き野菜・お花の種近日入荷予定!!

<果樹の病気について>

今年5月以降、キウイの木を枯らす「かいよう病」が急速に拡大しています。全国一の生産地である愛媛県や岡山、福岡、佐賀県でそれぞれ確認されています。今の所感染ルートは特定できておらず、さらに拡大する恐れがあります。

今の所愛媛県内の大産地である西条市や今治市など3市約3ヘクタールに広がり、岡山県は約0.3ヘクタール、福岡県は約2ヘクタール、佐賀県は約1.3ヘクタールの感染となっています。こうしたことから今月号は、特に恐ろしい病気について特集してみました。

○キウイかいよう病

昭和59年に静岡県で初めて確認された病気です。以降、神奈川県、静岡県から鳥取県、徳島県、宮崎県などで発生しています。

葉の症状

4月中旬から7月にかけての、つるが伸びて葉が展開していく頃に褐色～暗褐色の小さな斑点ができます。その後、赤褐色の斑点となって広がり、内側に巻いて縮んだり、落葉したりします。

茎の症状

新しい枝に、数センチにわたって亀裂ができて、先が黒ずんで枯れていきます。

つぼみの症状

開花することなく褐色に変色して落ちてしまいます。

この病原菌は、気温が20度以上になると活動が鈍くなるので今の時期は病気の進行や菌の増殖は止まっていますが、秋になると再び増殖が始まり、病気が進行していきます。葉や枝にいる菌は、9月以降に気温が下がってくると幹にも感染していき、11～3月にかけて病状が一気に進行します。

防除対策

- ・台木、穂木は、感染していないことを確認した圃場からとること
- ・風雨によって樹にキズがつくことで感染するので、ネットなどでキズ予防をする
- ・感染し落葉した葉に、翌年8月ごろまで菌が活着しているため、落葉はすぐに焼却する 等が大切です。

発病後の処置

発病部を切除します。樹全体の場合は収穫後、抗生物質の樹幹注入を行います。感染防止のためには、抗生物質の散布を行いましょ。

しかしながら今年発生しているかいよう病の菌は、今まで国内で確認されていなかったものなので、感染防止の対策は、今のところ菌の封じ込みくらいしか有効なものがないというのが現状です。

○紋羽病



☆紫紋羽病菌

根に感染して成長した後、根の組織に侵入して腐敗させます。特に傷口が無くても根に侵入してしまい、根全体を菌糸が覆うようになり、根から水分等が上がりなくなることで地上部が衰弱し、果樹では生育不良の症状がみられるようになります。こうなってしまうとすでに手遅れで、次の年には枯れてしまいます。

☆白紋羽病菌

紫紋羽に比べて果樹への感染が多く、根に見られる病状も根を枯らせるほどに強い症状を起しますが、地上部の症状は紫紋羽病菌とほとんど同じなので、根を掘らないと病気の区別はつきません。

両菌とも自然界において存在する中で、多くの樹を枯らしていくものではないので、果樹園で大きな被害が出るのは長年の栽培、収穫という作業が果樹自体にストレスを与えていることが原因の一つと考えられています。



※防除方法

- ・乾燥、寒さを防ぎ、樹に多くのストレスを与えないようにしましょう
- ・感染した根を削り取ったあと、薬剤の土壌灌注が効果が大きいです

実のり新聞

平成26年7月号

平成26年7月・第196号(毎月発行)

営業時間/8:00~20:00

実のり山陽店

TEL (086) 955-5561
岡山県赤磐市上市180-1

営業時間/8:00~20:00

実のり玉島店

TEL (086) 523-0511
岡山県倉敷市玉島爪崎1057-1

営業時間/9:00~20:00

実のり大安寺店

TEL (086) 214-2338
岡山県岡山市北区野殿西町418-1

営業時間/8:00~20:00

実のり伊予三島店

TEL (0896) 23-0600
愛媛県四国中央市下柏町688

Time
HOME CENTER

実のり
農家の店